

【畜産】の【台風】対策について

<7月>

農業経営支援課

【畜産全般】

(1) 事前対策

- ・ 畜舎の防風対策を十分に行い、特に開閉部はしっかりと固定するなど、破損に注意する。
- ・ 特に山間部では、道路の通行止めが予想されるため、飼料（配合飼料、青刈り、サイレージ含）は、余裕をもって準備する。
- ・ 停電が予想されるので、発電機の手配とともに、試運転を行っておく。
- ・ 断水の可能性がある場合には、最小限の飲水量を給水タンク等で確保する。

(2) 事後対策

- ・ 浸水した畜舎は、台風通過後速やかに消毒する。

【養豚・養鶏】

(1) 事前対策

- ・ 鶏舎内への雨の打ちこみを避け、床に湿り防止を行う。
- ・ ウィンドウレス畜舎では、非常用発電機の燃料の確保と、点検を行い、停電時に換気扇が停止しないように注意する。

(2) 事後対策

- ・ 台風通過後は、急激に気温が上昇することがあるので、肥育豚及び出荷前のブロイラーでは、畜舎を開放するなど換気に努める。

【飼料作物】

- ・ 発芽間もない飼料作物は、長期間の冠水で湿害が予想されるので、ほ場周辺に排水溝を設置し水が貯まりにくいようにする。また、冠水した場合は速やかに排水するとともに、水が引いた後は、生育不良対策として、10aあたり窒素成分で1kg程度の追肥を行う。
- ・ 刈取り適期のトウモロコシは、早めに収穫しサイレージ等に調整する。
- ・ 収穫間近のソルガムは、倒伏した場合、接地点から発芽し、収穫時に土が混入しやすくなるので、すみやかに収穫する。